

## 1. 経済財政運営と改革の基本方針2019(令和元年6月21日閣議決定)

### 第2章 Society 5.0時代にふさわしい仕組みづくり

#### 2. 人づくり革命、働き方改革、所得向上策の推進

##### (1) 少子高齢化に対応した人づくり革命の推進

##### ② 初等中等教育改革等

新学習指導要領が目指す教育の着実な実現、**安全・安心な学校施設の効率的な整備**、在外教育施設における教育機能の**強化を図る**。

##### ⑤ 大学改革等

大学・大学院において、文理を横断したリベラルアーツ教育や社会のニーズに応える博士などの高度人材の育成を推進する。高等専門学校の機能の高度化、専門職大学や専門学校等における企業等と連携した実践的な職業教育を進める。学部・研究科などの組織の枠を超えた学位プログラムの制度化により、広さと深さを両立した新たな教育プログラムを推進する。大学や高等専門学校等の国際化を進める。

#### 3. 地方創生の推進

##### (1) 東京一極集中の是正、地方への新たな人の流れの創出

過度な東京一極集中を是正し、地方・東京圏の転出入均衡に向け、地方への新しい人の流れをつくるため、地域における若者等の修学・就業の促進の観点から、民間人材事業者との連携による取組を含むUIターンによる起業・就業者創出や「キラリと光る地方大学づくり」の推進、地域おこし協力隊の拡充に取り組む。(中略) **地域に求められる人材育成機関としての高等学校・高等専門学校・専修学校・大学の機能を強化する**。

##### (6) 沖縄の振興

米軍基地の迅速な跡地利用を進める。西普天間住宅地区跡地では、関係府省庁の連携の下、琉球大学の医学部と附属病院の移設を核とする沖縄健康医療拠点の整備を進める。

次ページに続く

## 1. 経済財政運営と改革の基本方針2019(令和元年6月21日閣議決定)

### 5. 重要課題への取組

#### (2) 科学技術・イノベーションと投資の推進

##### ① 科学技術・イノベーションの推進

Society 5.0の世界に先駆けた実現、イノベーション・エコシステムの構築に向けて、「世界で最もイノベーションに適した国」へと我が国を変革する。このため、科学技術・イノベーション関連の司令塔の機能強化・相互連携を図るとともに、官民を挙げて研究開発を推進する。特に、若手研究者や女性研究者の活躍促進を含む研究環境の整備 など、**研究の人材・資金・環境の改革と大学改革を一体的に展開する**ことで、基礎研究をはじめとする研究力の更なる強化を目指すとともに、挑戦的な研究開発を推進する。

#### (7) 暮らしの安全・安心

##### ① 防災・減災と国土強靱化

国民の生命と財産を守るため、近年の災害の発生状況や気候変動の影響を踏まえ、体制整備に努めつつ、**ハード・ソフト両面において防災・減災対策、国土強靱化の取組を進める**。(中略) 国及び地方自治体の災害救助体制や消防団を中核とした地域防災力の充実強化、行政・NPO・ボランティア等の三者連携の強化及びコーディネータ人材の育成、自主防災組織等の育成・教育訓練、**防災拠点等となる学校等公共施設等の耐震化などの防災・避難所機能強化**、新技術を活用した河川管理の高度化・避難の迅速化等により、地域の災害対応力の向上を図る。

(中略) **重要インフラの緊急点検の結果等を踏まえ、緊急に実施すべき対策を3年間で集中的に実施するとともに、その実施状況を踏まえ、国土強靱化の取組の加速化・深化を図る**。また、3か年緊急対策後も、国土強靱化基本計画に基づき、必要な予算を確保し、オールジャパンで対策を進め、国家百年の大計として、災害に屈しない国土づくりを進める。

## 2. 成長戦略フォローアップ(令和元年6月21日 閣議決定)

### I. Society5.0の実現

#### 8. Society5.0実現に向けたイノベーション・エコシステムの構築

##### (2) 新たに講ずべき具体的施策

###### i) 自律的なイノベーション・エコシステムの構築

##### ② 高等教育・研究改革

###### イ) 研究力の向上

・ **研究「人材」、「資金」及び「環境」の改革を、産学官連携の下、大学改革と一体的に展開する、「研究力向上改革2019」を実施する。**

- 先端的な大型研究施設・設備や研究機器の戦略的活用、AI・ロボット技術の活用等によるスマートラボラトリ化、**研究施設の戦略的リノベーション等を積極的に推進し、Society5.0時代にふさわしい研究環境を目指す「ラボ改革」を行う。**

## 3. 統合イノベーション戦略2019（令和元年6月21日閣議決定）

### 第Ⅱ部

#### (1) 大学改革等によるイノベーション・エコシステムの創出

##### 第2章 知の創造

#### (1) 大学改革等によるイノベーション・エコシステムの創出

##### ① 実施状況・現状分析

研究力強化については、日本学術会議、文部科学省と連携し、CSTI有識者議員による基礎研究力強化に向けた検討を行って、課題の抽出を行った。この検討も踏まえ、文部科学省では「研究力向上改革2019」を策定した。これを政府全体としての取組に広げていくことで、総合的・抜本的な制度改革等につなげていく。

##### <基礎研究を中心とする研究力強化>

○ 文部科学省は、2019年4月に研究力向上加速タスクフォースの検討結果として、**研究「人材」「資金」「環境」改革を大学改革と一体的に実行する「研究力向上改革2019」を公表した。**

##### [研究環境の改革]

・研究室単位を超えて**研究環境の向上を図る「ラボ改革」**を通じて研究効率を最大化し、より自由に研究に打ち込める、Society 5.0時代にふさわしい環境の実現

##### ② 目標達成に向けた施策・対応策

上記を踏まえ、研究力の強化を図る観点から、まず「研究力向上改革2019」を確実に実施する。加えて、政府全体の取組として更なる抜本的な改革が必要であることから、**人材、資金、環境の三位一体改革を実現する「研究強化・若手研究者支援総合パッケージ」(仮称)を策定する。**

##### <基礎研究を中心とする研究力強化>

##### 《総合パッケージの策定》

○ 2019年4月に、文部科学省が策定した、「研究力向上改革2019」を発展させ、**人材、資金、環境の三位一体改革により、我が国の研究力を総合的・抜本的に強化するため、2019年内を目途に、大学・国研等における企業との共同研究機能強化や研究に優れた者が研究に専念できる仕組みづくりをはじめとする、以下の項目を中心に検討し、「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」(仮称)を策定する。**

##### iii) 環境（施設・設備の有効活用）

・**国立大学等の施設の戦略的リノベーションによるオープンラボ等スペースの創出**